



2/26 講座より
講師の
丸山忠璋氏 (左)
池田邦太郎氏 (右)



ギターを弾きなが
ら一緒に歌う
丸山先生

■ 講座の内容や様子

演劇や音楽などの芸術文化活動は、こどもの心にも、大人の心にも目に見えないパワーを与えてくれます。そして、人と人をつなぐ力も持っています。この講座から「心のちから」をパワーアップさせる方法を一緒に考えて、実践してみました。

第 1 回	2005.12.18 (土) なかのZERO 学習室 1 「子どもと演劇」 ～地域での演劇づくりを通して～ 講師：大多和勇 氏 (演劇企画くすの木主宰)
第 2 回	2006.1.14 (土) なかのZERO 学習室 1 「子どもと音楽」 ～療法的音楽活動のすすめ～ 講師：丸山忠璋 氏 (武蔵野音楽大学教授)
第 3 回	2006.2.19 (日) 桃園地域センター 障害も世代も超える音楽の力 1 ～音を楽しむ・音で遊ぶ～ 講師：池田邦太郎 氏 (音楽家)
第 4 回	2006.2.26 (日) 桃園地域センター 障害も世代も超える音楽の力 2 ～大人も子どももみんなで音楽～ 講師：丸山忠璋 氏+池田邦太郎 氏

■ 講座テーマ

心のちから

■ 事業協力団体名

特定非営利活動法人 ZERO キッズ

■ 対象

(子育て中) の親、育成者、一般

■ 実施場所

なかの ZERO 西館、桃園地域センター

■ 連絡先

中野区本町 5-27-3-103

T&F 03-5385-9068

E メール info@c-c-cnet.org

■ 事業協力団体の紹介

なかの ZERO ホールの開館記念事業 (1993) をきっかけに結成して 12 年。「そうぞう力」(想像力&創造力) をテーマにした「表現」と「なかまづくり」の活動は、歌・芝居・ダンス・マイム・造形・自然体験等、五感をフルに使ってのアートによる教育を目指す。三作の創作ミュージカルはそんな活動から生まれ、未来と夢をこどもたちの心の中に育てている。2004 年度から中野区地域子ども教室、家庭教育支援事業の協力団体として、子どもの居場所づくりと子育て支援に取り組む。



大人も子どもも世代を超えて・・・

講座の特色

■文化芸術という切り口から家庭教育支援を考えた。

■大人と子ども、障害を持つ人持たない人が一緒に活動しながら地域の子育て仲間をつくる方法を模索。

■ 1年のまとめ

<参加者>

- * 乳幼児を持つお母さんから孫のいる方まで幅広い年代が参加
- * 学校の先生（音楽、養護学校、他）や音楽療法に興味関心のある方が多くいた。
- * 部分的に子どもも一緒に参加
- * 参加者数：第1回 23名、第2回 37名、第3回 30名、第4回 37人

<広報>

- * ちらし、ポスター、区報、ケーブルテレビ、雑誌「教育音楽」のイベント案内欄に掲載

<反響>

- * すぐに役立つ実践のノウハウが学べた（教師、音楽療法関係者）
- * 学校の先生のたいへんさも知ることが出来、親や地域がもっとバックアップしていくことができないかと思った。
- * 子どもたちが育つためには、気づいた人が始めることが大切と思った。
- * 今は大人の「心のちから」が弱っている。子どもの「心のちから」を育てるには大人がまず元気にならなければ。「心のちから」は楽しいこと、ワクワクすることをやることで育つ。大人がとにかく始めよう。

■ 今後の課題

*乳幼児を持つお母さんも、小学生を持つお母さんも、様々な情報に振り回されている。そのため、これが正しい方法だという答えを求めるが、講師の答えもアドバイスの一つであり、選択するのも決めるのも本人の意志次第であることをわかっているだろうか？ 大人の「心のちから」をアップすることが本当に必要なことと感じる。



1/14 (土)「子どもと音楽」
なかのZERO 西館学習室1で